



人口増加対策

豊かな自然に囲まれた 快適な生活環境都市

ふるさと鳥取で暮らそう!

近年、首都圏や関西圏などに住んでいる人々を中心に、田舎暮らしやUJターンを希望する人が増えています。

人口の増加は、労働力、消費、税金など地域経済に好影響を及ぼすとともに地域コミュニティの活性化など、地域に大きな活力やにぎわいをもたらします。

本市では、人口増加対策本部を設置し「人口が増加していく住みよいまちづくり」推進施策を全市あげて進めており、特に団塊の世代を中心に帰鳥・移住など、UJターンの促進に、積極的に取り組んでいます。

今回は、この取り組みの一つとして開設した「鳥取市定住促進・Uターン相談支援窓口」についてお知らせします。



「鳥取市定住促進・Uターン相談支援窓口」の開設

本市は、平成18年9月1日に「鳥取市定住促進・Uターン相談支援窓口」を市役所本庁舎3階の協働推進課地域振興室内に開設しました。

この窓口では、UJターンを希望する人に対して、行政機関の支援制度や住宅・就業・生活に関する情報を総合的に提供するとともに、各種相談を受け付けています。

相談件数は増加傾向

窓口開設から11月末の3か月間で、茨城、群馬、東京、神奈川、山梨、静岡、岐阜、愛知、大阪、兵庫の10都府県に在住の20代から70代のみなさんからの相談や知人などへ紹介するための事業内容の確認など、72件の問い合わせがありました。内容は、空き家、就職、就農に関するものが多く、特に団塊の世代の人からは、ゆったりとした田舎暮らしをしたいという相談を受けています。

現在、1月と4月に農山村地域の空き家に移住を予定している人